



ドライビットケア： ペリービルに新たな息吹を吹き込む

オハイオ州ライマの繁華街にあるペリービルは、地域を越えて、大中小の組織にオフィスオートメーション技術を提供する大手企業であるペリー社の本拠地です。長年ペリー一族に所有されていたその古いレンガ造の建物は 1990 年に外断熱システム(EIFS)で改修されました。

物件名：ペリー社、オハイオ州ライマ

ドライビット仕上材／塗料：
カスタムブリック、ライムストーン
及びウェザーラスチックスモース

ドライビットケア業者：
トリスコシステム、オハイオ州ライマ

ドライビット施工：
ホーカードライウォール社、
オハイオ州コロンブス・グローブ

ドライビットケア代理店：
インテリアサプライ社、
オハイオ州ライマ

改修後 17 年でその外断熱システムは古さを感じる様になりました。ビルはその数年の間に数回、異なる業者により塗替えられましたが、塗装が大きく剥がれ見苦しくなりました。ビルオーナー代表であるエバンスプセコス副社長と 5/3 民間銀行の信用のおける幹部は、今こそこの壁を修理できる有能な EIFS 施工者を探す時だと考えました。

地域の委員会を通して、プセコス氏はビル外装や構造補修、改修、修復が得意な現地会社のトリスコシステム社を見つけ、ビルを修復するお勧めの方法はあるかと聞きました。トリスコ社は 1936 年から修復事業を行っており、建物保全や修復に関して、最適な外観と強固な構造を成し遂げると高い評価を受けていました。

ビルの調査を様々な分野から行った後、トリスコ氏はドライビットケアプログラム[®]による外壁改修を提案しました。ドライビット

ケアは包括的な保守及び補修プログラムで、商用ビル外壁の長期性能を確保／拡張する様に設計されたものです。

ドライビットケアは外壁の清掃や補修、修復の指針を示し、既存の建物外装にドライビットシステムを使った新しい外断熱保証を得る機会をも与えます。

外観のみならず性能をも高めるドライビットシステムを用いて、トリスコ氏はペリービルの修理と再仕上げの計画を立案しました。トリ

スコ社のスチーブウォルター氏によると、「ドライビットケアの古い外断熱ビルの修復を行う「スプリント」で計画を進めることにしました。このやり方は美観を充実させるだけでなく、システムや建物の寿命が延長され、長い間続くと言うことなのです。」



ペリービルで、トリスコシステムズ社はドライビットケアプログラムを使った外壁修復を提案しました。

トリスコ社の計画は、最初にそのビルが再仕上げされた時には使えなかった仕上材やモルディングを使い、斬新な美観を作り上げることでした。新たな外観は外壁をドライビットのカスタムブリックとライムストーン仕上材を組み合わせ、更には柱やコーニスの帯、雨押さえの様な特殊な美観を追加した再仕上げをすることで成し遂げられました。

トリスコ社の提案はペリー一族に認められ、間もなく改修が始まりました。塗装面の2層が26,000ft²の外壁から剥がされ、最初にあった施工不良が沢山の修復により修正され、様々な壁が完全に取換えられました。ビルは低水圧の噴射できれいにされました。修復と清掃が完了したら直ぐに、鉛直面のひとつがドライビットのウェザーラスチックスモース外壁塗料で再塗装されました。最終段階で美的要素が追加されました。トリスコ社の担当はホーカードライウォール社の施工者と共にドライビットカスタムブリックを主たる部位に施工し、他の鉛直面にはドライビットのライムストーン仕上材を施工しました。

工程は全体的に順調に進み、完了までにおおよそ4ヶ月を要しました。スチーブウォルター氏は現場におけるドライビットの役割にとっても熱心でした。「最初の建物診断から施工完了まで、ドライビットのサポートは素晴らしかった。」ウォルター氏は言います。「材料の配送のみならず、技術面の支援がとても良かった。」結果、印象的なビルになりました。ドライビットの先進技術と想像力を使って、トリスコ社はペリービルの古い外断熱の修復のみならず、きらびやかな新しい外装により、建物全体の寿命を増やすことに成功しました。最も重要なのは、その新たな外観はお手頃な費用で実現でき、全くドライビットの技術は有り難い。ペリービルのレンガと石工の外装は、美的外観を維持させる場合、もし従来の石材材料を使っていたら、法外な費用がかかったでしょう。

ペリービルの再仕上げはペリー一族にとっても評判が良く、地域の方々にも好評でした。修復されて以来、建物は地域の美化に貢献したとして、リマ市から2つの賞を受賞しています。プセコス氏によると、

「この施工前後の差は信じがたいものでした。結果に大いに満足しています。」

プセコス氏とペリー一族は、現場の施工方法がとても気に入ったので、ドライビスカスタムブリック仕上げを建物の玄関まわりにも施工したいと、トリスコ社に再度の契約をする計画を立てています。



外壁をドライビットのカスタムブリックとライムストーン仕上材を組み合わせた新たな外観は、建物は地域の美化に貢献したとして、リマ市から2つの賞を受賞しています。

※ドライビットケアプログラムは日本国内では未だ対応しておりません。